

☆放課後子ども教室☆

初々しかった1年生もすっかり放課後教室に慣れ、新学期が始まった当初に比べ、それぞれの学年の子どもたちの顔つきが変わったな、と1学期が終わろうとしている今、そう感じています。子どもたちにとっては待ちに待った夏休み。ケガや事故のない楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います（宿題や自由研究も忘れずに！）。

6月のモノづくりプログラムでは、昨年も好評だった葉っぱスタンプをして遊びました。1年生にとっては初めてのモノづくりプログラムとなりましたが、みんなそれぞれに個性あふれる素敵な作品がたくさんできました。

7月前半は低学年では運動量が多いオニごっこやドッチビー（ドッチボールのルールで、ボールの代わりに柔らかい素材でできたフリスビーを使用するスポーツ）を行いました。ドッチビーではやはり3年生が主導権を得てゲームが進みましたが、何度もフリスビーを投げている子がほかの子に譲ってあげたり、1・2年生に投げる方向をアドバイスしたりする姿も見られました。負けたのが悔しくて泣いたり、ケンカをしたりすることもあります。自分たちの力で解決しようとする努力ができるようになってきました。また、体の使い方、身のこなしが春に比べて上手になってきていると感じています。一方、高学年ではルールの理解やボールの扱いに技術が必要なミニバレーや、学校で習った技術を応用してのマット運動といった活動を行いました。スタッフからのアドバイスや補助を受け、何度も練習する姿。これまではうまくいかないとやめてしまうことも多かったのですが、今回は「もう一回！」とまた挑戦していく姿がありました。活動を通して子どもたちの成長が見えるというのはとてもうれしいことです。

天気の良い日の自由時間では、子どもたちのリクエストで外に遊びに出かけています。校庭にある遊具での遊びだけではなく、学校周辺のお散歩をすることも多くなっています。子どもたちの身近にある自然は、子どもたちにいろいろなことを教えてくれます。桑の実の実は赤いものより黒いものの方が熟していて美味しいこと。侍ごっこをするときにフキはちょうど良い傘になること。帽子にはっぱを差し込んで寝転べば草むらで完璧に隠れられること。放課後教室の活動でお世話になっているご近所の農家さんのところに散歩に行ったときには、ハウスの中を見せてもらったり、シーズン真っ盛りのはスカップを摘ませてもらったり、とそんな時間も過ごしています。



夏休み期間中、通常の放課後教室はお休みですが、夏休み特別教室として今年は3日間の活動があります。そのひとつに7月31日（木）に開催される『ともいきの里夏祭り』にて、放課後子ども教室がお店を出店します。商工会青年部さんのご協力のもと、子どもたちがお店の開き方を厚真で商業を営む方から教わり、看板やポップの作成、会場設営、販売、会計まですべてを運営する【あつまっ子カフェ】のオープンです。今年度も実施している農協青年部のみなさんとの活動（あつまっ子ふるさと体験教室）の昨年度の活動で、収穫したお米を使った商品（お菓や、農家さんから仕入れた野菜などを販売します。17時30分から19時までの営業時間となっておりますので、みなさまのご来店をお待ちしております。

